

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	新しい伊豆松崎での過ごし方プロデュースのしくみづくり事業
対象地域	静岡県松崎町
対象地域の概要	    ↑隣接の下田市、南伊豆町、河津町、1市3町の合併が混迷。 ←岩地区は「東洋のコートダジュール」との呼び名。オレンジ色の民宿屋根が目立つ。 ←石部区の棚田は現在、オーナー制を導入し保全に努めている。
提案内容の概要	松崎町、主として三浦地区の民宿再生による地域活性をめざし、20年度事業で設置したコンソーシアムの拡充を行いながら、継続して民宿の新しい活用法の調査、研究、実験事業を進める。今年度は、休業・廃業民宿の再活用についての調査、研究も発展させながら、特色ある松崎の過ごし方を提案して行きたい。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	前述のとおり、松崎町の宿泊客数は、ピークであった平成4年と比して19年は47%と大幅に減少している。静岡県、伊豆地域のピーク時（H3）との比率はそれぞれ69%、61%であり、松崎町の減少率の高さがうかがえる。宿泊施設の90%を占める民宿は、その魅力であった素朴なもてなしや価格の割安感等が、近年の観光ニーズの変化や宿泊費の価格競争により薄れてしまったこと等による低迷が推測される。また、経営者の高齢化、後継者不足等も要因となり廃業・休業が増え、民宿数自体が減少している。 平成20年度事業における三浦地区民宿アンケート調査では、民宿従事者の年齢層、60代が51%、70代以上が26%となっている。5年以内の廃業を考える民宿は30%、代替わりしての継続意思がある施設は、わずか3%という調査結果からも、民宿集落の存続は危機的な状況が予想される。 また、同調査の年間月別稼働状況の調査結果を見ると、稼働日半月以上の宿が30%を超えるのは8月のみ（50%）。海開き後の7月でも27%、それ以外の月は、ゴールデンウィークがある5月の8%を頭にいずれも数%である。 民宿の安定的経営を考えるに、海水浴シーズン以外の稼働率を上げることは必要不可欠であり、昨年度事業で、岩地区において、子どもたちの体験学習旅行誘致のコンソーシアムを設置し、これまでに21年、22年の体験学習旅行者延べ1,130名（仮予約含）を獲得できたことは、大きな成果であった。 しかし、年度当初より事業への参画を呼びかけていた近隣2区については、未だ協力体制を構築するに至らない。この2区についても岩地区同様、農漁業と民宿が地域経済の柱であり、過疎、高齢化により衰退著しいことから、今後、さらなる働きかけを行う必要がある。さらに、子どもたちの体験学習旅行も5、6月に集中する傾向にあるため、他の時期への誘客についても取り組みが必要となっている。上記の点から、新たな形態の民宿利用、廃業・休業民宿の活用の検討が急がれる。

(2) 活動内容の案	活動①：休業・廃業民宿の活用に向けた調査・研究 内容： 20 年度調査では、長期滞在者等の受け入れについて、「受け入れたい」、「条件付で受け入れたい」との回答が 22%だった。しかし、建物調査説明会等で関心を示す声もさまざま聞かれた。また、20 年度は、すでに休業・廃業している民宿へのアンケート調査ができなかった。こういった状況をふまえ、長期滞在型の民宿建物活用における具体的な民宿側の実態、ニーズ把握を行い、課題解決のための専門機関等への調査により、実現に向けた提案を作成する。 1) 地域ニーズ調査 ・岩地区以外での建物調査報告会の開催 ・休業・廃業民宿ならびに関心のある営業中の民宿へのヒヤリング調査によるニーズ把握 ・調査結果分析による課題整理 2) 専門家ヒヤリングならびに先進・類似事例調査 ・課題解決のための専門家へのヒヤリング (不動産取引、建築、消防等法律、国二地域居住対策等の関連機関を想定) ・先進・類似事例調査(二地域居住推進地域等を想定) 3) 休業・廃業民宿活用のしくみ提案づくり ・調査結果の分析と提案づくり ・協議会による提案の検討 活動②：特色ある伊豆松崎の過ごし方提案 内容： 20 年度事業において成果が出始めた子どもたちの体験学習旅行誘致については、受け入れのエリアや規模、体験プログラム等を拡充しながら継続して展開する。子どもたち以外にも、松崎ならではの体験を取り入れた滞在促進のためのメニューづくりとPRを行い、夏の海水浴シーズン以外の集客をめざす。この達成のために、まずは、岩地区にとどまらず三浦地区、松崎町全域にエリアを広げて、地域資源を活かした体験プログラムや民宿の特性を調査、検討。特徴的なものについては、モデル的に滞在実験を行う。基本的に20 年度発足したコンソーシアムを拡充することで事業を推進する。 1) 地域・民宿資源の調査 ・地域資源を活かした体験プログラムの調査、商品化の調整 ・民宿の特性のヒヤリング調査 2) 滞在モデル実験 ・実験モデルプラン作成 ・モデルプランによる宿泊モニタリング実施、検証 3) 松崎での過ごし方提案づくり ・調査、実験結果のまとめと提案づくり 4) コンソーシアムの拡充 ・拡充にともなう組織の再編 ・再編にともなうホームページの改修 ・事業に関わる情報発信
応募団体名	特定非営利活動法人エヌ・ピー・オー伊豆
リンク	http://www.npo-izu.jp/
部局／担当者名	専務理事 田中 孝治
連絡先	054-273-8041
推薦市町村名	静岡県松崎町